

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成27年9月18日(金)発行 第 21 号 発行責任者:高橋 弘悦

温泉たまご創作料理試食会



9月15日、西山温泉せいざん荘において、温泉たまごを利用した創作料理試食会を行いました。

温泉たまごは、その作る過程で、どうしてもひび割れて商品化できないものがあります。これまでは全て処分されていたようですが、それを活用してメニュー化しようというのが今回の試みです。

西山中学校の生徒、教職員がそれぞれメニューを考案。その中で、実際にメニュー化できそうなもの4点について調理していただき、全生徒、教職員で試食をしました。

実際に試食メニューにあがったのは、2年生金子千聖さん考案の「西山の山菜ときのこの豆腐温泉たまごのせ」、1年生金子天斗くん考案の「ヘルシー温玉うどん・そば」、そして、木島教頭先生の「温玉さくら丼」、山田先生の「西山地熱カレー」の4点。いずれも絶品で、定番の「煮込みソースカツ丼」などよりずっと魅力的で、むしろこれら4点の方が看板メニューになるのではないかと思います。NHKの放送を見たある人が「あのメニューはせいざん荘に行けば食べられるの？」と聞いてきました。ブレークの予感がします。



NHKニュースより

出品されたメニュー



千聖さん考案



天斗くん考案



教頭先生考案



山田先生考案

地元温泉旅館宿泊体験

15日、せいざん荘で試食会を行った後、地元の3軒の温泉旅館に宿泊体験しました。

これは、「地元を知る」活動の一環で、地域の魅力を発信するのに、まずは自分たち自身が地域を体験する必要があるだろうと考えてのことです。

満室だった1軒をのぞいた3軒の温泉旅館に3グループに分かれて分宿調査。夜には、西会津町の地域おこし協力隊員の横山萌美さんをお招きし、車座になって、鎌倉出身の横山さんが、会津を選んで移り住んだ理由、会津の印象と魅力、地域おこし協力隊の仕事などについて語っていただきました。

盛りだくさんの企画で充実した1日となりました。



地域おこし協力隊とは？

宿泊体験夜の部では、西会津町地域おこし協力隊の横山萌美さん、また、昼の部の創作料理試食会には、19号でご紹介した三島町地域おこし協力隊の志賀薫さんが駆けつけてくださいました。

そもそも「地域おこし協力隊」とは、どのような方々なのでしょう？

地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組です。

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。

お二方も派遣先で創意ある活動を行いながら、私たち奥会津の活性化に貢献していただいています。地元住民である私たちも、地域に誇りを持ち、地域を楽しむ活動を展開したいものだと思います。

